

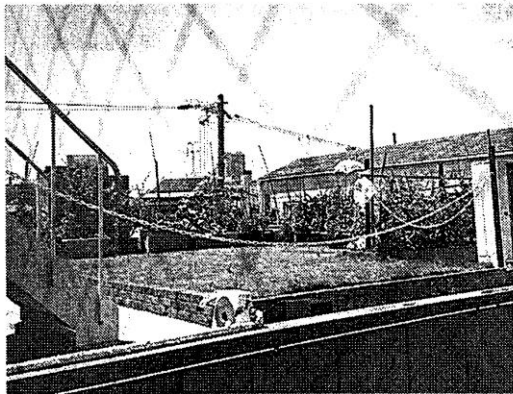
社内菜園で結束深める

越野運送 野菜分け合う

【大阪】越野運送(越野泰弘社長、大阪市都島区)で

は、会社の遊休スペースを有効利用して社内菜園を始めている。

寄川修所長は「4人の従業員からの声掛けで社内菜園が始まった。おいしい野菜などを育て、分け合うことで会社の結束



社も一部を負担する形で土などを購入し、ナスビ、ピーマン、キュウリ、ゴーヤ、サツマイモ、ラッカセイ、オクラなどを育てている。

「水やりや収穫などはすべて従業員でしてくれている。収穫した野菜は、みんなで分けておいしく食べている。従業員も喜んでくれて

いるため、今後も続けていきコミュニケーションを図る場としていきたい」とし、「4人の従業員の趣味で始めたことが、今では会社全体に広がりが、全社員で楽しみながら育て、おいしく食べられることに意味があると思う。会社のプラスになることを積極的に取り入れていきたい」と話す。

(中村優希)